

NPO法人 <sup>ふるさと</sup> 故郷の海を愛する会

2021年度 事業報告

事業名 **海から始まる物語 IN 2021**



## 目 次

<b>1</b>	NPO法人 故郷の海を愛する会の活動の目的と事業と組織 .....	1
<b>2</b>	事業名「海から始まる物語 IN 2021」	
	活動計画 .....	2
	活動報告	
	参加者募集と参加者 .....	3
	活動その① JMU津造船所見学と鳥羽商船高専の練習船で体験航海 .....	4
	活動その③ 潮騒の神島にわたり、伊良湖水道の見学と神島の自然観察をする .....	7
	活動その④ 遊んで学ぼう。商船学校の歴史と船と海の話 .....	10
	アンケートの集計 .....	13
	募集のポスターなど .....	16
	インターネットでの募集や活動紹介など .....	17
<b>3</b>	その他の活動	
	共催団体が実施する活動の募集協力など .....	18
	アサギマダラを呼ぶプロジェクト .....	19
	セイラビリティ伊勢と協力して活動 .....	19
<b>4</b>	収支報告 .....	20
<b>5</b>	2022年度の活動計画 .....	21
<b>6</b>	主催者の感想と反省など	
	参加者の地域別内訳 .....	22
	2021年度 反省点 .....	22
	終わりに .....	23

# 1. NPO法人 故郷の海を愛する会の活動の目的と事業と組織

14年ほど前に鳥羽商船同窓会の伊勢志摩支部の有志達が地域の子供たちにもっと世界につながる船や海を知ってもらおうと任意団体「故郷の海を愛する会」を立ち上げました。4年後にはもっと活動の輪を広げようと「NPO法人 故郷の海を愛する会」を設立し、現在に至っています。私たちの活動の対象は当初から主に小学5.6年生と中学生です。子供たちが学校で貿易や運輸（海運）を学び我々の活動に興味を持ち、この会の活動がそれに応えることができるようになれば目的が達成されることになります。

**目的** 定款で以下のように定めています。

第3条 この法人は、主に三重県内に在住する小中学生に対して、故郷の海を愛する心を育て、素晴らしい日本と日本の海を認識し『希望と憧れ』の気持ちを醸成させることに関する事業を行い、もって**こどもたちの健全な育成**に寄与することを目的とする。

**事業** 定款で以下のように定めています。

第5条 この法人は、第3条の目的を達成するため、安全、安心を確保のうえ、次の事業を行う。  
特定非営利活動に係る事業

- ① 故郷の海を愛する心を育てる事業
- ② 海や船に親しむ活動の推進事業
- ③ 世界に繋がる海で活躍し世界に雄飛する気持ちを醸成する事業
- ④ 郷土の誇る明治の教育家「近藤真琴翁」の偉業を多くの人に知ってもらおう事業
- ⑤ その他第3条の目的を達成するために必要な事業

その他、定款を含む団体情報は、カンパブログを参照ください。

<https://fields.canpan.info/organization/detail/1882169442>



**組織** 役員名簿

役職名称	氏名	常勤/非常勤	職業	報酬の有無
理事(会長)	川口 心也	非常勤	無職	無
理事(副会長)	三井 建次	非常勤	無職	無
理事(副会長)	江崎 隆夫	非常勤	会社社長	無
理事(会計)	畑 辰幸	非常勤	水先案内人	無
理事	古川 昭一	非常勤	無職	無
理事	水野 逸夫	非常勤	学校教員	無
理事	永井 功	非常勤	無職	無
理事	溝井 昇	非常勤	無職	無
理事	山口 伸輔	非常勤	会社社長	無
理事	木下 勝	非常勤	無職	無
理事	濱地 安美	非常勤	無職	無
理事	西山 明	非常勤	無職	無
監事	武部 二三男	非常勤	無職	無

(会員数) 2022年1月時点での正会員数は個人99名と3団体。賛助会員数は13名です。

## 2. 事業名「海から始まる物語 IN 2021」

### 活動計画

#### 事業実施の方針

新型コロナ感染防止対策を十分に行い、安全安心を第一に事業を実施する。参加者が小中学生なのでボランティアの人数を十分に確保する。気象、海象に不安のあるときは延期する。又夏季の事業では熱中症対策として水分補給に十分配慮する。この事業を通じて一人でも多くの子供たちが海や船に興味を持ち、その道に進む憧れのきっかけになるよう計画する。楽しい思い出となるイベントにする。

#### 活動その① JMU津造船所見学と鳥羽商船高専の練習船で体験航海

津市と鳥羽市で集合、JMU津造船所で大型船の建造工程を見学し、船の大きさを体感する。  
又、鳥羽商船高専の練習船に乗り、伊勢湾体験航海をして、航行する大型船を近くで見る。  
船上では船の設備・構造・機関等の説明を受け、ロープワーク等を体験する。

募集人員40名+ボランティア 場所/津市及び鳥羽市と伊勢湾 開催日/8月4日

#### 活動その② 伊勢湾フェリーに乗船し、伊良湖で渥美半島の自然観察をする

緊急警戒宣言  
により中止

鳥羽市で集合し、伊勢湾フェリーに乗船し伊良湖に向かう。

伊良湖では渥美半島の自然観察をする。

渥美郷土資料館にバスで向かい、昔から伊良湖水道を渡って伊勢志摩と交流があった様子を学ぶ。

募集人員40名+ボランティア 場所/鳥羽市～伊良湖渥美半島 開催日/8月19日

#### 活動その③ 潮騒の神島にわたり、伊良湖水道の見学と神島の自然観察をする

鳥羽市で集合し、チャーター船で神島に向かい、自然観察をする。

神島灯台から伊良湖水道を通航する大型船を眺める。

神島を徒歩で一周しながら渡りをする蝶、アサギマダラを探す。

募集人員40名+ボランティア 場所/鳥羽市神島 開催日/10月9日

#### 活動その④ 遊んで学ぼう。商船学校の歴史と船と海の話

鳥羽商船高専の校内で、船や海の講演を聞き、模擬操船体験や大型機関の発停を体験する。

他にコンピューターやロボットなどの講演を聞き、ロボットやアプリの体験をする。

募集人員30名+ボランティア 場所/鳥羽市 国立鳥羽商船高等専門学校校内 開催日/12月11日

#### 募 集

募集対象は主に三重県の中南勢地区の小学5.6年生と中学生とする。

対象学校毎にポスターを、対象の子供達にリーフレットを配布する。

#### 参加費

活動①②③については¥1,000、その④は無料とする。



## 活動報告

## 参加者募集

2021年度は前年度に加えて三重県南部の熊野市、御浜町、紀宝町を募集対象としました。募集人数はコロナ対策を踏まえて参加者が密にならないように例年の半分としました。従来と同様に三重県の中南勢地区の小中学校に募集のポスターの掲示を、対象の子供達にリーフレットの配布をお願いしました。リーフレットの配布対象は削減して、小学5.6年生と中学1年生としました。対象地域の中学校は177校、小学校は80校で配布人数は中学校6,172人、小学校12,763人であり下記(表)の通りです。

2021年	中学校		小学校		生徒合計	対前年増減
	校数	1年生徒	校数	5・6年生徒		
津市	49	2,242	21	4,600	6,842	△139
松阪市	36	1,356	11	2,883	4,239	△32
伊勢市	22	952	10	2,062	3,014	△228
志摩市	7	338	6	619	957	△62
鳥羽市	7	106	5	241	347	△40
明和町	6	189	1	410	599	△26
玉城町	4	146	1	315	461	13
多気町	5	148	2	279	427	△35
度会町	1	69	1	135	204	△12
南伊勢町	3	54	2	87	141	△26
大紀町	4	45	2	96	141	△21
尾鷲市	5	119	2	218	337	△35
大台町	4	50	2	136	186	△12
紀北町	8	94	4	175	269	△51
熊野市	8	111	5	205	316	
御浜町	3	59	3	133	192	
紀宝町	5	94	2	169	263	
合計	177	6,172	80	12,763	18,935	

## 参加者

今年度の参加者は下記(表)の通りです。追加した市町村からは二人の参加者がありました。活動②については新型コロナウイルス緊急警戒宣言発出により中止しました。

	津市		松阪市		伊勢市		志摩市		鳥羽市		明和町		玉城町		多気町		度会町	
2021年度	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
小学5年	9	11	5	2	15	1	0	0	4	0	2	0	0	0	0	0	0	0
小学6年	6	2	12	10	13	4	0	2	0	0	1	0	2	4	0	0	0	0
中学1年	1	2	1	3	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中学2年	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中学3年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計(男女別)	16	15	18	15	31	5	1	2	4	0	3	0	2	4	0	0	0	0
合計	31		33		36		3		4		3		6		0		0	

	南伊勢町		尾鷲市		大台町		大紀町		紀北町		熊野市		御浜町		紀宝町		合計	
2021年度	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
小学5年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	37	14
小学6年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	34	23
中学1年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	5
中学2年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
中学3年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計(男女別)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	77	42
合計	0		0		0		0		0		1		0		2		119	

個々の活動の参加者数について

活動その①	募集40名	参加者子供45名
活動その③	募集40名	参加者子供45名
活動その④	募集30名	参加者子供29名
合計	募集110名	参加者子供119名

## 活動その① JMU津造船所見学と鳥羽商船高専の練習船で体験航海 8月4日実施

鳥羽商船高専とJMU津造船所に計45名の小中学生が集合し8班に分かれて活動しました。

「練習船鳥羽丸」に乗船し体験航海を楽しんでもらうとともに、操舵室、エンジンコントロールルームで、航海計器、船を動かすエンジンのしくみについて学びました。また、造船所では船の構造、船が建造されるまでの工程について学びました。

鳥羽丸の操船体験をしたり、造船所で建造中の船を間近で見たりと、貴重な体験をすることができました。

ご協力くださった関係各所の皆様、ありがとうございました。

当日のスケジュールは以下の通りです。

鳥羽商船高専組 1号車		JMU津造船所組 2号車	
07:30	スタッフ集合 鳥羽商船高専		
08:00	鳥羽商船高専にて受付開始	08:20	スタッフ集合 津JMU前
08:30	集合 岸壁に移動	08:50	津JMU前で受付開始
08:40	乗船前に船長挨拶と救命具の話	09:20	集合
09:00	鳥羽丸に乗船 出港	09:30	バスに乗車 構内見学
09:15	4班で体験航海	10:30	造船所見学終了
	船橋・機関制御室・結索・船内見学等	10:40	造船所出発 鳥羽へ
10:50	鳥羽丸帰港 下船 鳥羽商船高専へ		車中ではビデオ鑑賞
	近藤真琴記念碑 紹介	12:00	鳥羽商船高専到着
11:20	鳥羽商船高専(クリエイティブラボ)で昼食		近藤真琴記念碑 紹介
12:20	バスに乗車 津へ出発	12:20	鳥羽商船高専(クリエイティブラボ)で昼食
	車中ではビデオ鑑賞	13:10	徒歩で鳥羽丸へ
13:40	バス 津造船所到着 見学開始	13:20	乗船前に船長挨拶と救命具の話
14:40	見学終了	13:40	鳥羽丸に乗船 出航
	造船所で解散の人は解散	13:55	4班で体験航海
14:50	バス 造船所前出発		船橋・機関制御室・結索・船内見学等
	車中ではビデオ鑑賞	15:30	鳥羽丸帰港 下船 鳥羽商船高専へ
15:50	伊勢市駅前 一部解散	15:50	バス出発 津へ
16:20	鳥羽商船高専到着 解散	17:10	津造船所前到着 解散

	出航S/B	09:15~09:35	09:35~09:55	09:55~10:15	10:15~10:35	入港S/B
		13:55~14:15	14:15~14:35	14:35~14:55	14:55~15:15	
A	Fブリッジ	船内見学	船橋	機関制御室	結索	教室
B	Fブリッジ	船橋	機関制御室	結索	船内見学	教室
C	教室	機関制御室	結索	船内見学	船橋	Fブリッジ
D	教室	結索	船内見学	船橋	機関制御室	Fブリッジ

三重県の小中学生、鳥羽商船高専組23名と津造船所組22名の参加を得て、新型コロナウイルスの感染予防に努めながら活動を以下の通り実施しました。



鳥羽商船高専に集合



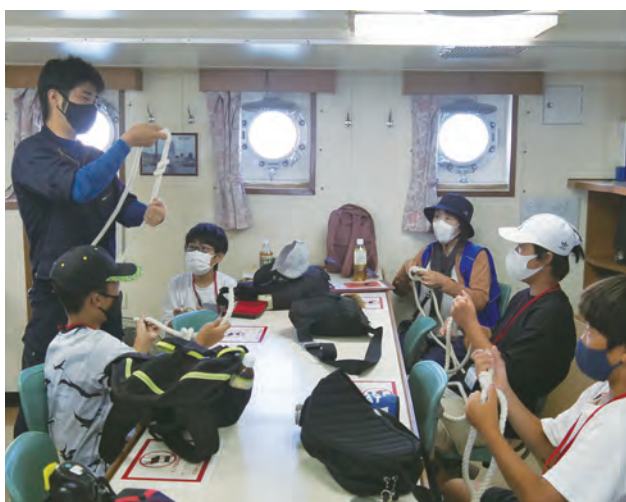
鳥羽丸に乗船



船橋で操船体験 緊張してる



機関制御室で機関長の説明



結索体験 むずかしい



漁船に手を振る おーーい

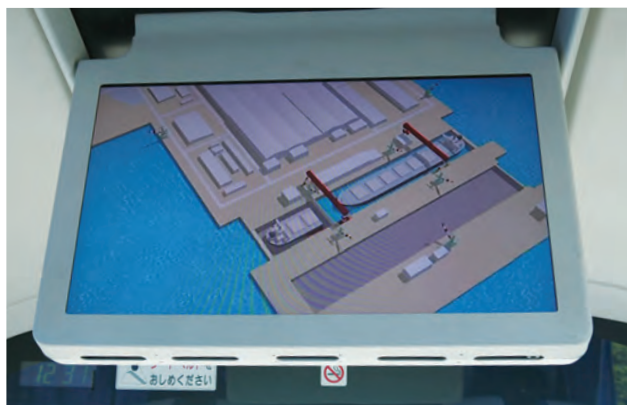




昼食



バスで移動中 隣の席は空席



バス車中で 造船所の紹介DVD



日本の海運DVD



バス車中で造船所の方の説明



建造中の大きな船



接岸中の建造中の船 この船が移動して ドックに入渠 仕上げ塗装する  
津造船所組は入渠の様子を見ることが出来ラッキー!



### 活動その③ 潮騒の神島にわたり、伊良湖水道の見学と神島の自然観察をする 10月9日実施

8月19日に予定していた「活動その②伊勢湾フェリーに乗船し、伊良湖で渥美半島の自然観察をする」は、三重県に新型コロナの感染拡大防止の為、緊急警戒宣言が出され、県外への移動自粛を求められたので、残念ながら中止しました。

宣言も解かれた10月9日、南勢地区の小中学生45名とスタッフ15名は鳥羽市の鳥羽マリントーミナルに集合し、連絡船で神島にわたり、歩いて島を一周しました。暑い一日となりましたが、神島灯台や監的哨跡から伊良湖水道を眺め、遊歩道では渡りをする蝶アサギマダラを探し、カルスト地形など自然を観察しました。

お昼は神島小中学校の庭で休憩、おいしいタコ飯を頂きました。

昼の休憩回りから、初めて出会った子供同士が仲良くなり、楽しそうに遊具で遊んだり、浜に出たりしていました。

活動その①と同様に、新型コロナ感染予防対策として、参加者の体調チェックを行い、特にマスクの常時着用と手指のアルコール消毒などの対策を取り、実施しました。加えて、連絡船は他の乗客と一緒にしないようチャーター便としました。尚、スタッフはワクチン2回接種者のみとしています。

当日のスケジュールは以下の通りです。

時間	内容
08:10	スタッフ集合 鳥羽マリントーミナル
08:40	受付開始
09:10	集合時刻 班別に集合 5班 主催者挨拶・注意事項
09:25	乗船開始 チャーター便出航 神島へ
10:00	神島到着 下船
10:10	人数確認後、班毎に出発 途中、時計台・洗濯場を見学。八代神社を經由して灯台へ。途中、アサギマダラを探す。
11:00	神島灯台へ 神島灯台・伊良湖水道の説明
12:00	説明を終えたら、順次島内巡りへ 監的哨、カルスト地形、ニワの浜等を見てアサギマダラを探す。
12:20	小学校校庭で昼食 トイレ借用する。 昼食は出前してもらう。
13:20	島内巡りに再出発
14:10	港に帰着 アンケートに記入
14:30	員数確認
14:40	チャーター便 出航
15:15	鳥羽マリントーミナル着
15:20	おわりの挨拶 解散

三重県の小中学生45名、スタッフ15名の参加を得て、  
新型コロナの感染拡大防止に努めながら活動しました。その時の様子を紹介します。

朝8時40分頃から鳥羽市の鳥羽マリンターミナルで受付開始。

参加者は新型コロナ感染予防対策で先ずアルコール消毒し、検温し、体温チェックシート提出!



鳥羽マリンターミナルで第二十七鳥羽丸に乗船



関係者のみ乗船、神島へ。







神島小中学校の庭で集合写真 撮影時のみマスクを外した



古里の浜 八畳岩



子供達楽しそう



帰りの船に乗船



神島からさようなら

午後3時過ぎに鳥羽マリンターミナルに帰着。 解散となりました。

神島を歩いて一周しました。晴れていてよかったのですが、秋にしては暑い一日となりました。伊良湖水道では大型船の航行は見えませんが、伊良湖岬や太平洋がきれいに見えました。アサギマダラがたくさん飛んでいるのを期待したのですが、それほどは。でも、渡りをする蝶アサギマダラを全員見ることが出来たので良かった。子供達が神島を巡り、新しい友達が出来たり、思い出に残る一日となったかと。



## 活動その④ 遊んで学ぼう。商船学校の歴史と船と海の話

12月11日実施

2021年度の最後の活動「遊んで学ぼう。商船学校の歴史と船と海の話」には子供達29名が参加しました。  
活動に際し鳥羽商船高専には全面的な協力を頂きました。

三重県では新型コロナの感染状況は少なく、落ち着いていましたが、感染防止対策をとり、特にマスクの  
常時着用と手指の消毒殺菌、密の回避に努めました。

朝9時50分に集合し、講演を聞いたり、体験活動したり、子供たちは忙しい一日であったと思います。  
新しい友達もできたと思います。

当日のスケジュールは以下の通りです。

時間	内容
09:20	参加者受付開始
09:50	集合 4号館マルチメディア室へ移動
10:00	挨拶 故郷の海を愛する会会長 川口心也
10:10	講演 講師 塩野明俊氏 『校祖 近藤真琴物語』
11:00	DVD放映 日本船主協会 『日本海運』
11:50	昼食 ビンゴゲーム 潮騒会館
12:45	記念撮影 近藤真琴記念碑前
13:00	講演 講師 古森教授 『沿岸部に漂着した可燃ごみの有効活用』
13:50	チャレンジ体験コーナー 4班に分かれ4イベントを巡回 <div> <p>① プログラミングで養殖魚に餌をあげよう ..... 第3演習室</p> <p>② 高専ロボコンの紹介 ..... ものづくり工房</p> <p>③ ディーゼルエンジンを動かそう ..... 内燃機関実験室</p> <p>④ 船の働き～どうして船は浮かぶの?重い船～ ..... 荒天航泊実験棟</p> </div>
15:50	参加者アンケート記入 4号館マルチメディア室
16:00	挨拶 解散

三重県の小中学生29名の参加を得て、鳥羽商船高専で以下の通り活動を実施しました。新型コロナの感染状況は少なく落ち着いていましたが、例年より参加者を制限、感染拡大防止に努めました。



受け付けは消毒と検温から



講演 校祖近藤真琴の話

近藤真琴は明治8年に航海測量習練所を、明治14年に分校として鳥羽商船を開設した。



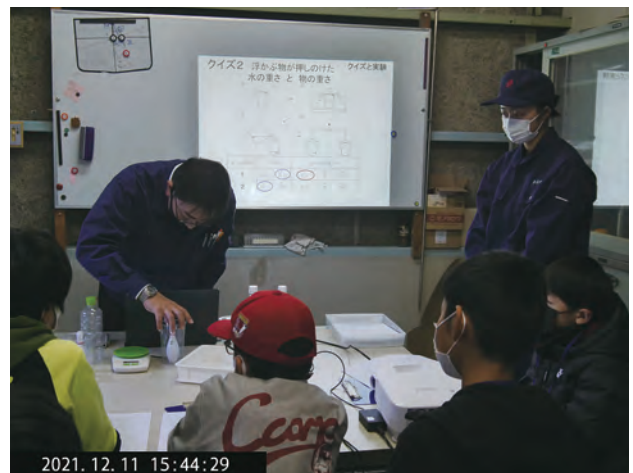
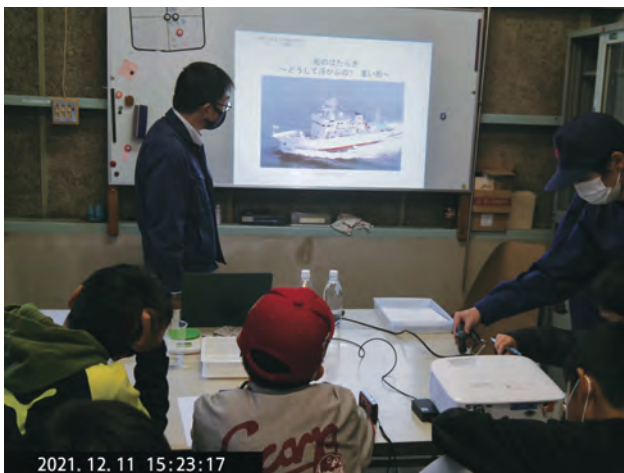
DVD「日本の海運」視聴

如何に海運が必要であるか学びました。みんな真面目に観て聴いています。メモを取る子もあちこち。





【ディーゼルエンジンを動かそう。】  
エンジンを実際に起動し、増減速し、停止しました。



【船の動き～どうして船は浮かぶの?重い船～】  
実験用水槽を見せてもらい、鉄でできた重い船が何故浮かぶのか学びました。

子供達は朝9時50分に集合し、午後4時まで講演を聞いたり、体験したり、忙しい一日になりました。でも、きっと楽しんでくれたと思います。新しい友達もできたと思います。記憶に残る一日となることを期待しています。



## アンケートの集計 活動その①

2021年8月4日実施

参加者全員45名 回答者45名 (複数回答有り)

- Q1 どこから参加したか? 省略します。
- Q2 学年と性別は? 省略します。
- Q3 イベントを何で知りましたか? A 学校 ブログ 知人等 その他  
40 1 4 -
- Q4 誰が参加を決めましたか? A 学校 親 友達 その他  
28 20 10 -
- Q5 故郷の海を愛する会を知っていましたか? A はい いいえ  
2 43 知名度はまだからです。
- Q6 何を一番楽しみにして参加しますか? A 体験航海 造船所見学 友達と行ける ナシ  
32 4 6 5  
体験乗船を楽しみにしている。
- Q7 集合場所には誰と来ましたか? A 保護者 友達 自分ひとり  
37 17 -
- Q8 今回の活動で何が楽しかったですか? A ●船の操縦 14 ●船に乗ったこと 13 ●船上でいろんな体験をした 10 ●船を造るのを見た 4 ●船からサメやスナメリを探した 1 ●なし 2
- Q9 活動で何かびっくりした事がありましたか? A ●造船所で船の長さが300mあったこと 4 ●重い船が浮くこと 1 ●ドックに入っている船がとても大きかった 4 ●造船所がとても広い 2 ●造船所でブロックを運ぶ車にタイヤが90個ついていた 2 ●造船所で船のブロックが大きかった 2 ●船を操縦できたこと 4 ●船の構造にびっくりした 1 ●ブリッジにいっぱいボタンがあった 1
- Q10 今後、このような活動があったら参加したいですか? A はい いいえ  
45 - 全員が参加したいと回答、感激!
- Q11 新しい友達が出来ましたか? A はい いいえ  
40 5
- Q12 今日、他校の人やボランティアの人と話をしましたか? A はい いいえ  
39 6
- Q13 話をした人は、どんな話をしましたか? A ●船の事 12 ●学校の事 5 ●住んでいるところ 2 ●船に乗ったことがあるか? 3 ●この活動について 2 ●船内に設置してある機械について(何に使うか?) 6 ●自分で世界一周したい 1 ●インターネットの事 2
- Q14 今日の活動についての印象は? A ●船の事をよく知った 3 ●船に大きな機械がたくさんあった 3 ●たくさんの人が海を守るため頑張っている 4 ●船酔い(帰りは良くなった) 2 ●鳥羽丸を操縦する機械に 2 ●造船所の見学(大きな船を造っている)14 ●船の構造や造り方に関する知識 1 ●友達になれた 3 ●鳥羽商船に興味を持った(入学したい) 2 ●船に乗った事 2 ●活動の内容が良かった 2 ●進行がスムーズで良かった 1

## アンケートの集計 活動その③

2021年10月9日実施

参加者全員45名 回答者43名 (複数回答有り)

- Q1** どこから参加したか? 省略します。
- Q2** 学年と性別は? 省略します。
- Q3** イベントを何で知りましたか? **A** 学校 38 ブログ 1 知人等 3 その他 1
- Q4** 誰が参加を決めましたか? **A** 自分 34 親 15 先生 - 友達 5 その他 -
- Q5** 故郷の海を愛する会を知っていましたか? **A** はい 9 いいえ 33 知名度はまだからです。
- Q6** 何を一番楽しみにして参加しますか? **A** ●アサギマダラと自然の観察 22 ●船に乗れる 7 ●大型船が見える 1 ●神島に行ったことがないので 3 ●友達と一緒に乗船できる 3 アサギマダラの観察に人気があるのでびっくりしました。
- Q7** 集合場所には誰と来ましたか? **A** 保護者 37 友達 11 一人 -
- Q8** 今回の活動で何が楽しかったですか? **A** ●アサギマダラを見つける 14 ●海を見て海岸で遊んだこと 8 ●昼食がおいしかった 6 ●学校でロープ遊びをしたこと 4 ●ハイキングが楽しかった 4 ●船に乗った事 2 ●すべて楽しかった 4
- Q9** 活動で何かびっくりした事がありましたか? **A** ●大自然(海がとてもきれい、神島あんがい広い) 5 ●お昼ご飯がおいしかった 2 ●階段がきつかった(多かった) 9 ●島にも学校があった 3 ●沢山チョウがいた 5 ●思ったより歩いた 3 ●昆虫がたくさんいた 2
- Q10** 今後、このような活動があったら参加したいですか? **A** はい 42 いいえ - 回答ナシ 1 全体の97%が参加したいと回答。
- Q11** 新しい友達が出来ましたか? **A** はい 26 いいえ 16 回答ナシ 1
- Q12** 今日、他校の人やボランティアの人と話をしましたか? **A** はい 32 いいえ 10 回答ナシ 1
- Q13** 話をした人は、どんな話をしましたか? **A** ●アサギマダラの事 6 ●昼食の事 2 ●学校の事 3 ●神島の事について 2 ●海岸に落ちていた貝、石の事 2 ●神島の名所スポットについて 3 ●友達としりとり 3 ●ゲームの事 4
- Q14** 今日の活動についての印象は? **A** ●楽しかった 23 ●イベントの内容が良かった 5 ●階段が多くてきつかった 2 ●山に登るのに疲れた 2 ●アサギマダラを探しながら伊良湖水道を見る事が出来て良かった 6 ●友達がたくさんできた 1 ●海がきれいだった 1 ●神島のことが良く分かった 1 ●海の匂いを感じた 1 ●山頂からの景色が良かった 1 ●海岸で遊んだ 1

## アンケートの集計 活動その④

2021年12月11日実施

参加者全員29名 回答者29名 (複数回答有り)

- Q1 どこから参加したか? 省略します。
- Q2 学年と性別は? 省略します。
- Q3 イベントを何で知りましたか? 省略します。
- Q4 誰が参加を決めましたか? A 自分 親 先生 友達 その他  
23 10 - - -
- Q5 故郷の海を愛する会を知っていましたか? A はい いいえ  
17 12 最後の活動で知名度UP。
- Q6 何を一番楽しみにして参加しますか? A ●イベントでチャレンジすること 15 ●ビンゴゲーム 11  
●海の話 2 ●鳥羽商船学校の話 2
- Q7 集合場所には誰と来ましたか? A 保護者 友達 一人 不明  
24 7 2 6
- Q8 今日の活動で何が楽しかったですか? A ●ビンゴゲーム 7 ●海岸のごみの話 3 ●プログラミング体験 6  
●船のエンジンを発停 4 ●チャレンジ体験 5 ●お昼休み 1  
●ロボコン見学 4
- Q9 活動で何かびっくりした事がありましたか? A ●ゴミで電気が作れる 3 ●かみなりの仕組み 2 ●コンテナ船の  
大きさ 1 ●プログラミングで養殖場のえさが与えられる 6 ●船が  
重くても浮いている 2 ●話の内容がすごくよかった 1 ●電気が  
流れると冷たくなる半導体 3
- Q10 今後、このような活動があったら  
参加したいですか? A はい いいえ 回答ナシ 全員参加したいと回答、  
29 - - 学校の施設は人気がある。
- Q11 新しい友達が出来ましたか? A はい いいえ 回答ナシ  
16 13 -
- Q12 今日、他校の人やボランティアの人と  
話をしましたか? A はい いいえ 回答ナシ  
20 9 -
- Q13 話をした人は、どんな話をしましたか? A ●いろいろ楽しかったこと 3 ●学校の事 2 ●チャレンジ体験  
コーナーの話 2 ●活動についての感想 2 ●どこから来た  
など 2 ●船のエンジンがすごいなど 3
- Q14 今日の活動についての印象は? A ●とても楽しかった 12 ●イベントの内容が良かった 2  
●いろんな話を聞くことができて楽しかった 2 ●いろんなこと  
について学べる 2 ●これからも進んで参加したいと思われる  
体験でした 1 ●いろんな体験ができてよい印象 1 ●体験  
コーナー 1 ●海のことについて考えていきたい 1 ●近藤  
真琴翁がすごい 1



## 募集のポスターなど

イベント①②③は例年と同様に一枚の募集ポスターを用意し、三重県中南勢地区の小学校に掲示していただいた。募集用リーフレットは各学校を通して小学5.6年生、中学1年生に配布をお願いした。

ポスター A2サイズ 各学校1枚とした。

例年と同様にリーフレットの裏面に募集時の注意事項を記載しました。今年度はメールフォーム、Eメール、ファックスで受付けることにしました。

メールフォームの設定が事務局の不備によって混乱を招き次年度の反省点となりました。

配布に関しては、各市町村の教育委員会にメンバーが届けてスムーズに配布が出来ました。前年度に比べて、配布先が遠方の熊野市等3地区まで広がったので時間を費やしました。

リーフレット A4サイズ (表)

(裏)

イベント④については、①②③のイベントに応募された方全員に案内を送付し、応募者多数の中から抽選によって参加者を決め開催した。





国土交通省  
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

中部運輸局海事振興部

令和3年 6月15日 (火)

定例記者懇談会資料  
名古屋港記者クラブ同時発表

連絡先  
中部運輸局海事振興部  
旅客課 吉田、馬淵  
TEL 052-952-8013  
(公社)中部海事広報協会 市川  
TEL 052-652-4039

C to Sea プロジェクト  
海や船が「楽しく身近な存在」になるための取組み。  
ポータルサイト「海ココ」

海の日

toSea

令和3年中部地区  
「海の月間」イベントのご案内

中部運輸局は、国民の祝日「海の日」(7月22日)を中心に、「海の月間」である7月に、海事思想の普及を図るため、海事関係団体、関係自治体と連携して海に關わりの深い様々な行事を取り組むこととしております。

月間中は、中部地区(愛知・静岡・三重・福井各県)内において、別途資料のとおり体験乗船や見学ツアーなどの海に関する様々なイベントが盛り込まれますのでお知らせします。

なお、各イベントの内容や詳細等、取材の可否につきましては、それぞれに記載してありますイベント主催者(電話番号)にお問い合わせをお願いします。

三重県

体験乗船

- 中部セントレア国際空港周遊クルーズ  
7月下旬～9月下旬の土日祝日などで天候の良い日の内、10回程度  
・ 船に乗り海を身近に感じ、観望飛行機の離発着シーン・空港構造物を海上から見学。(幼児以上 一律500円)  
津エアポートライン株式会社 TEL:059-213-6582
- 第27回「親子で学習! ヨットにチャレンジ」  
8月下旬 津ポートレース場  
・ 「小型ヨットの操船実習」と「ジェットボートの乗船体験」を実施  
三重県海事広報協会 TEL:059-340-6430
- 「海から始まる物語 IN 2021」造船所見学・練習船体験航海  
8月4日(水) JMU津造船所、鳥羽商船高等専門学校  
・ JMU津造船所で大型船の建造工程を見学し、鳥羽商船高等専門学校の練習船に乗り伊勢湾体験航海  
(一社)日本船主協会TEL:03-3264-7181
- 「海から始まる物語 IN 2021」伊勢湾フェリーに乗り伊勢湾で渚美半島の自然観察  
8月19日(木) 鳥羽港～伊勢湾  
・ 鳥羽港から伊勢湾フェリーに乗り伊勢湾渚美半島へ行き、渚美半島の自然観察  
NPO法人故郷の海を愛する会TEL:090-7612-2979  
(一社)日本船主協会TEL:03-3264-7181

絵画コンクール

- 中学生海の絵画コンクール  
7月31日(土)～8月16日(月) 四日市港ポートビル  
三重県海事広報協会 TEL:059-340-6430

C to Sea プロジェクト  
海や船が「楽しく身近な存在」になるための取組み。  
ポータルサイト「海ココ」

toSea

活動後援の国土交通省中部運輸局が6月の記者クラブ発表にて  
『「海の月間」イベントのご案内』の中で故郷の海を愛する会の行事を紹介してくれました。

### 3.その他の活動

#### 共催団体が実施する活動の募集協力など

国立鳥羽商船高等専門学校の活動への参加者募集記事を会のブログに掲載し、募集に協力しました。

船員の仕事in鳥羽商船(鳥羽クルーズ) [2021年06月29日 (Tue)]

故郷の海を愛する会の活動への参加者募集はおかげさまで沢山の応募を頂きありがとうございました。  
応募して頂いた、参加できない方々に以下の情報をお知らせします。  
「あさま」に乗船し鳥羽湾クルーズ、練習船鳥羽丸でエンジン始動体験ができるようです。

7月31日 鳥羽商船高専で公開講座  
船の仕事in鳥羽商船(鳥羽クルーズ) 中学生 20名 募集

詳細は以下を参照ください。  
<https://www.toba-cmt.ac.jp/sangaku/koukai/2021%e5%b9%b4%e5%ba%a6%e5%85%ac%e9%96%8b%e8%a3%9b%e5%ba%a7/>

Posted by SHINYA at 09:07 | 参加者募集 | この記事のURL | コメント(0)

小中学生のための科学技術体験教室 鳥羽商船高専

サイテクランド2021

公開講座

公開講座	対象	定員	申込	申込	申込	申込
7月18日(土) 9:00～12:00	小学生	20名	要申込	要申込	要申込	要申込
7月18日(土) 13:00～16:00	小学生	20名	要申込	要申込	要申込	要申込
7月19日(日) 9:00～12:00	小学生	20名	要申込	要申込	要申込	要申込
7月19日(日) 13:00～16:00	小学生	20名	要申込	要申込	要申込	要申込
7月20日(月) 9:00～12:00	小学生	20名	要申込	要申込	要申込	要申込
7月20日(月) 13:00～16:00	小学生	20名	要申込	要申込	要申込	要申込
7月21日(火) 9:00～12:00	小学生	20名	要申込	要申込	要申込	要申込
7月21日(火) 13:00～16:00	小学生	20名	要申込	要申込	要申込	要申込
7月22日(水) 9:00～12:00	小学生	20名	要申込	要申込	要申込	要申込
7月22日(水) 13:00～16:00	小学生	20名	要申込	要申込	要申込	要申込
7月23日(木) 9:00～12:00	小学生	20名	要申込	要申込	要申込	要申込
7月23日(木) 13:00～16:00	小学生	20名	要申込	要申込	要申込	要申込
7月24日(金) 9:00～12:00	小学生	20名	要申込	要申込	要申込	要申込
7月24日(金) 13:00～16:00	小学生	20名	要申込	要申込	要申込	要申込
7月25日(土) 9:00～12:00	小学生	20名	要申込	要申込	要申込	要申込
7月25日(土) 13:00～16:00	小学生	20名	要申込	要申込	要申込	要申込
7月26日(日) 9:00～12:00	小学生	20名	要申込	要申込	要申込	要申込
7月26日(日) 13:00～16:00	小学生	20名	要申込	要申込	要申込	要申込
7月27日(月) 9:00～12:00	小学生	20名	要申込	要申込	要申込	要申込
7月27日(月) 13:00～16:00	小学生	20名	要申込	要申込	要申込	要申込
7月28日(火) 9:00～12:00	小学生	20名	要申込	要申込	要申込	要申込
7月28日(火) 13:00～16:00	小学生	20名	要申込	要申込	要申込	要申込
7月29日(水) 9:00～12:00	小学生	20名	要申込	要申込	要申込	要申込
7月29日(水) 13:00～16:00	小学生	20名	要申込	要申込	要申込	要申込
7月30日(木) 9:00～12:00	小学生	20名	要申込	要申込	要申込	要申込
7月30日(木) 13:00～16:00	小学生	20名	要申込	要申込	要申込	要申込
7月31日(金) 9:00～12:00	小学生	20名	要申込	要申込	要申込	要申込
7月31日(金) 13:00～16:00	小学生	20名	要申込	要申込	要申込	要申込

申込方法  
1. 申込書に必要事項を記入し、写真2枚を添付する。  
2. 申込書に必要事項を記入し、写真2枚を添付する。  
3. 申込書に必要事項を記入し、写真2枚を添付する。  
4. 申込書に必要事項を記入し、写真2枚を添付する。  
5. 申込書に必要事項を記入し、写真2枚を添付する。  
6. 申込書に必要事項を記入し、写真2枚を添付する。  
7. 申込書に必要事項を記入し、写真2枚を添付する。  
8. 申込書に必要事項を記入し、写真2枚を添付する。  
9. 申込書に必要事項を記入し、写真2枚を添付する。  
10. 申込書に必要事項を記入し、写真2枚を添付する。

申込先  
鳥羽商船高等専門学校 企画課 船務課  
〒517-0001 三重県鳥羽市上鳥羽1-1-1  
TEL:059-404-4242 FAX:059-404-4243

申込期間  
6月29日(火) 9:00～12:00 申込受付開始  
7月2日(金) 13:00～16:00 申込受付終了

申込料  
無料

申込方法  
1. 申込書に必要事項を記入し、写真2枚を添付する。  
2. 申込書に必要事項を記入し、写真2枚を添付する。  
3. 申込書に必要事項を記入し、写真2枚を添付する。  
4. 申込書に必要事項を記入し、写真2枚を添付する。  
5. 申込書に必要事項を記入し、写真2枚を添付する。  
6. 申込書に必要事項を記入し、写真2枚を添付する。  
7. 申込書に必要事項を記入し、写真2枚を添付する。  
8. 申込書に必要事項を記入し、写真2枚を添付する。  
9. 申込書に必要事項を記入し、写真2枚を添付する。  
10. 申込書に必要事項を記入し、写真2枚を添付する。



## アサギマダラを呼ぶプロジェクト

このプロジェクトはアサギマダラの美しさと生命力に興味を持った鳥羽商船同窓生の仲間たちによって3年前に立ち上げられました。

毎年10月頃、蝶のアサギマダラは日本の高地から遠く南の島に向けて2千キロもの距離を渡ります。小さいからだでひらひらと、どこにそんな力があるのでしょうか。ロマンを感じます。

旅の途中でフジバカマやアザミの蜜を吸って体力をつけ、再び南に向かって飛んでゆきます。三重県では鳥羽の神島や伊勢市・松阪市・津市・熊野市などでアサギマダラの飛来が見られます。私達はアサギマダラの食草であるフジバカマを育て、花を咲かせてアサギマダラを呼ぼうと考えました。考えに賛同した会員が鳥羽商船高専の庭や伊勢市・鳥羽市の自宅の庭にフジバカマを育て、希望者には株分けをして、たくさんの花を咲かせてアサギマダラの訪れを待っています。

アサギマダラの飛来は多い所で20頭を超え、昨年は鳥羽商船高専の庭にも初飛来して話題となりました。その他会員の庭にも現れ始めたようです。

このプロジェクトを通じて地域にこの輪が広がっていくことを願っています。



## セイラビリティ伊勢と協力して活動

セイラビリティ伊勢は、セーリングを通じて障がい者を含む青少年、子ども、高齢者が楽しく活動できる環境を整えている団体です。

毎年、この団体で開催されている「伊勢市夏休みこども体験ツアー」と「みなと小学校体験実習」の活動に、故郷の海を愛する会のメンバーがボランティアスタッフとして参加しました。みなと小学校の体験乗船は天候不良につき室内でのロープワークと工場見学に変更されました。



## 4. 収支報告

2021年度の収支報告を下記(表)の通り報告いたします。

収入について、受取会費¥64,000、事業収益¥89,000、受取寄付金¥380,000、受取助成金¥1,034,000、その他収益(利息)を加えて合計¥1,567,003となりました。

支出について、事業費としてイベント事業費¥246,857、業務委託費¥250,000、募集経費¥250,000、旅費交通費¥334,860でその他礼金、雑費を加えて¥1,135,157になります。管理費が¥347,958で合計¥1,483,115となりました。

当期正味収支は¥83,888となって、前期繰越¥365,277を加えて次期繰越は¥449,165となります。

### 令和3年(2021)年度 特定非営利活動に係る事業会計 活動計算書

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで) 特定非営利活動法人 故郷の海を愛する会

科 目	金 額 (単位:円)		
I 経常収益			
1 受取会費			
正会員受取会費(個人)	61,000		
正会員受取会費(団体)	3,000	64,000	
2 事業収益			
第1回事業収益	44,500		
第2回事業収益	0		
第3回事業収益	44,500		
第4回事業収益	0		
第5回事業収益	0	89,000	
3 受取寄付金			
受取寄付金(個人)	350,000		
受取寄付金(法人・団体)	30,000	380,000	
4 受取助成金等			
受取民間助成金(日本中小型造船工業会)	324,000		
受取民間助成金(日本船主協会)	0		
受取民間助成金(日本海事センター)	0		
受取民間助成金(全日本海員組合)	450,000		
受取民間奨励金(山縣記念財団)	100,000		
受取民間助成金(日本海事広報協会)	0		
受取民間助成金(鳥羽商船同窓会)	160,000		
受取民間助成金(鳥羽商船同窓会伊勢志摩支部)	0		
		1,034,000	
5 その他収益			
受取利息	3		
雑収益	0	3	
経常収益合計			1,567,003
II 経常費用			
1 事業費			
(1) 人件費	0	0	
(2) その他の経費			
イベント事業費	246,857		
業務委託費	250,000		
諸謝金(講師・看護師・学生)	40,000		
募集経費	250,000		
印刷製本	0		
旅費交通費	334,860		
保険料	0		
雑費	13,440	1,135,157	
2 管理費			
(1) 人件費	0	0	
(2) その他の経費			
租税公課	0		
交際費	23,614		
旅費交通費	0		
通信費・運搬費	103,827		
消耗品	102,571		
支払手数料	3,303		
雑費	114,643		
その他経費合計		347,958	
経常費用合計			1,483,115
当期正味財産増減額			83,888
前期繰越正味財産額			365,277
次期繰越正味財産額			449,165

### 令和3(2021)年度 貸借対照表

令和4年3月31日現在 特定非営利活動法人 故郷の海を愛する会

科 目	金 額 (単位:円)		
I 資産の部			
現金預金	546,165		
未収金			
流動資産合計		546,165	
2. 固定資産			
(1) 有形固定資産			
什器備品	0		
有形固定資産合計		0	
(2) 無形固定資産			
ソフトウェア	0		
無形固定資産合計		0	
(3) その他の資産			
その他の資産合計		0	
固定資産合計		0	
資産合計			546,165
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	0		
前受会費	37,000		
前受寄付金	60,000		
流動負債合計		97,000	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計		0	
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		365,277	
当期正味財産増減額		83,888	
正味財産合計			449,165
負債及び正味財産合計			546,165

広くご寄付をお願いしました。ご寄付頂いた方々は以下の通りです。ありがとうございました。

氏名	金額	氏名	金額	氏名	金額	氏名	金額
「久居地区」明るい社会づくりの会		山田 岑生	30,000	服部 光幸	5,000	上杉 幸三	2,000
テクノマリン(株)		山口 秀	50,000	藤田 稔彦	5,000	竹内 大助	2,000
菅沼 延之	30,000	古川 昭一	10,000	飯島 寿	5,000	奥村 要治	2,000
畑内 康孝	30,000	中村 映	10,000	石原 賢一	5,000	中村 雅則	2,000
増島 忠弘	30,000	塩野 明俊	10,000	井上 民規	4,000	永井 功	1,000
山下 文徳	20,000	鈴木 晴敏	9,000	佐藤 隆史	4,000	松浦 肇	1,000
小甲 和己	20,000	石川 富朗	9,000	丹羽 幸彦	4,000	木下 勝	1,000
長谷川 雅昭	10,000	西山 明	9,000	大西 彰夫	4,000	家田 和良	1,000
井上 道彦	10,000	金田 護	8,000	宮脇 幸次	4,000	強力 修	1,000
濱地 安実	10,000	小林 司	8,000	中西 哲也	3,000	丸島 慶久	1,000
坂崎 清	10,000	2022年1月現在		※敬称略		合計	380,000円

## 5. 2022年度の活動計画

2022年度の活動計画は「海から始まる物語 IN 2022」と題し、以下の活動を計画しています。  
故郷の海を愛する会の活動開始以来14年目の活動になります。2021年度は活動①～④を計画しましたが新型コロナウイルス感染拡大の影響によって活動②が実施できませんでした。県外への移動を含む行程でしたので中止せざるを得ませんでした。今年の活動は県内にとどめコロナ感染防止対策を十分に行ってすべての活動を実施しようと考えています。

### 第1回イベント JMU津造船所見学と鳥羽商船高専の練習船で体験航海

津市と鳥羽市で集合し、JMU津造船所で大型船の建造工程を見学し、船の大きさを体感する。  
又、鳥羽商船高専の練習船に乗り、伊勢湾体験航海をして、航行する大型船を近くで見る。  
船上では船の設備、構造、機関等の説明を受け、ロープワーク等を体験する。  
募集人員:40名+ボランティア(活動に際しての協力:鳥羽商船高専並びにJMU津造船所)  
場所:津市及び鳥羽市と伊勢湾 時期:8月上旬

### 第2回イベント 四日市港の見学

津市と鳥羽市で集合し、バスで四日市市に移動。  
四日市港では、うみテラス14の見学とユリカモメで港内見学をする。  
募集人員/40名+ボランティア(活動に際しての協力:四日市港管理組合)  
場所/四日市市 時期/8月下旬(25日)

### 第3回イベント 潮騒の神島にわたり、伊良湖水道の見学と神島の自然観察をする。

鳥羽市で集合し、市営連絡船で神島に向かい、灯台から伊良湖水道を通航する大型船を眺め、神島を歩いて一周し、渡りをする蝶アサギマダラを探す。  
募集人員/40名+ボランティア(活動に際しての協力:鳥羽市)  
場所/鳥羽市～神島 時期/10月8日

### 第4回イベント 遊んで学ぼう。商船学校の歴史と船と海の話

鳥羽商船高専の校内で、船や海の講演を聞き、模擬操船体験や大型機関の発停を体験する。  
他にコンピューター・ロボットなどの講演を聞き、ロボットやアプリの体験をする。  
募集人員/30名+ボランティア(活動に際しての協力:鳥羽商船高専)  
場所/鳥羽市 国立鳥羽商船高等専門学校校内 時期/12月10日

年間4回のイベントを計画し、国立鳥羽商船高等専門学校・国土交通省中部運輸局・近隣市町教育委員会(鳥羽市・伊勢市・志摩市・松阪市・津市・玉城町・明和町・南伊勢町・多気町・度会町・大台町・大紀町・尾鷲市・紀北町・熊野市・御浜町・紀宝町)等の後援を得て参加者募集を行う。

国立鳥羽商船高等専門学校の練習船「鳥羽丸」学校施設の利用等全面的な協力、鳥羽商工会議所、鳥羽市観光協会、鳥羽商船同窓会等の後援・協力を得て事業を実施していく。

助成に関しては、鳥羽商船同窓会に加え、日本中小型造船工業会、日本船主協会、全日本海員組合、山縣記念財団、日本海事広報協会等からの助成を期待しています。



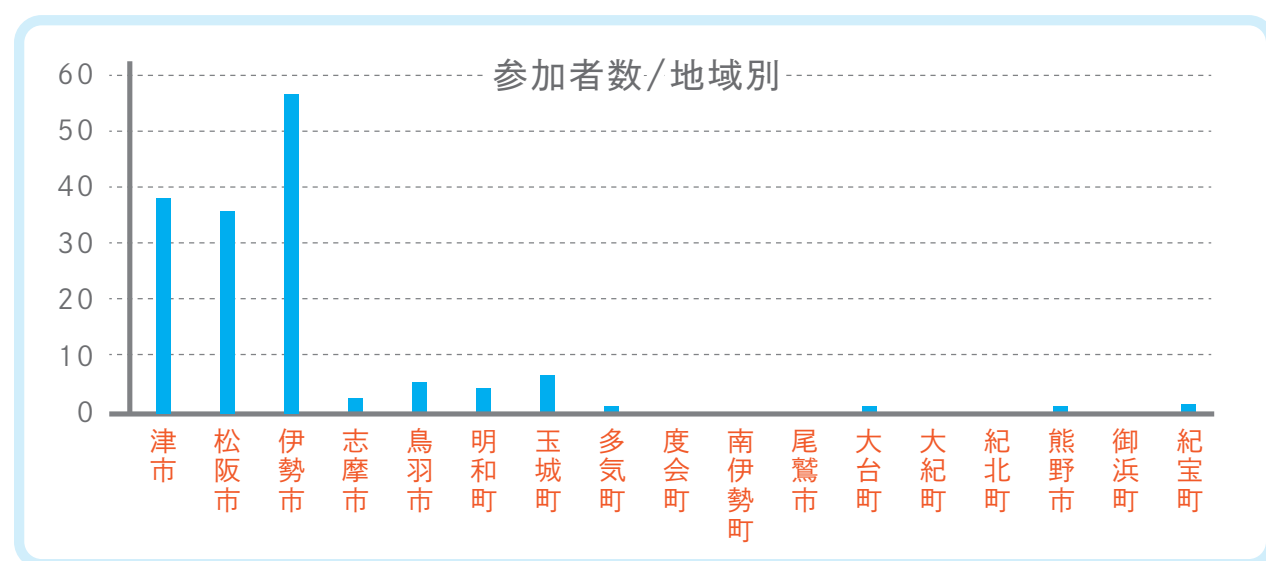
## 6. 主催者の感想と反省など

今年度で故郷の海を愛する会の活動を開始して13年となりました。最近は小学校高学年、中学生を対象に参加者の募集を限定して活動を行っています。各イベントの進行状況などを見ると以前に比べて時間通りに進んでいます。

お昼休みのお弁当はイベントの中で子供たちが関心を持ち、最も盛り上がる場所なのですが、見ていると完食する子供は半数以下で驚きを隠せません。ボランティアの大人たちとは別のメニューで用意しているイベントもあるのですが我々の時代と違いを感じます。今後、このあたりも改善する必要があるのかも分かりません。

### 参加者の地域別内訳

今年度の参加者地域別内訳を下記(表)の通り示します。



参加者数はコロナ禍での密を避けるため例年に比べ半数以下としました。例年と比較することができないので単年の参加者数をグラフにしました。(この時点ではイベントの中止は考えていません)

圧倒的に津市、松阪市、伊勢市が多く、全体の82%を占めており、それ以外の市町村は10人以下となっています。新しく募集地域に加えた熊野市、御浜町、紀宝町からも2人の参加がありました。

来年度もこの地域で募集を行いたいと考えています。また、募集人数についてもコロナ禍の開催になると思いますので2022年度事業計画に記載してある人数で開催します。

### 2021年度 反省点

#### 参加者募集、応募に関して

6月22日午前10時、各学校へ配布したパンフレット、リーフレットに記載した応募方法による受付を開始しましたが応募フォームの設定不具合が発生し、事務局としてはドタバタした受付初日となりました。

原因は「応募フォームは自動返信」のはずが自動返信となっておらず、手作業による確認と返信に時間を費やしたことです。設定を復旧してからも返信が届かない不具合が発生し、混乱を招く結果となりました。また、サイトに接続できる10時を待たないと必要事項を入力できないフォーム応募者と、下書きや送信予約機能を利用できるEメール応募者では時間の差が生じ不公平になったのではないかと考えられます。

改善策として、参加者の募集は応募フォームのみとし、受付整理作業、データ入力作業の省力化のためにもEメール、ファックスでは受け付けないようにします。また、3名迄は一緒に応募できるように改善します。

参加者は先着順ではなく募集人員の2倍程度になり次第締め切って、後日抽選を行います。公平とするため受付順に抽選します。

イベント毎の定員を40名の2倍で締め切れば、約250名程度の受付数となり、事務局としての作業も軽減されます。

尚、応募フォームの作成、ネット上での設定、運営は外注とするのが望ましいと考えます。

## 昼食に関して

食物アレルギーの参加者がイベント毎に数名いたので今後も注意する必要があります。対策としてはリーフレット裏面の応募詳細や、参加決定者へ送付する案内状で注意喚起を行います。主催者側で全ての対応はできかねるので、食物アレルギーのある参加者には昼食持参で参加をお願いすることになります。

## 新型コロナ対策

今年度の活動においても十分な対策を行い実施しました。変異型ウイルスにより感染年齢が低下している傾向があり、小中学生対象のイベント開催により一層の感染予防対策が必要とされます。

## 終わりに

2021年度は新型コロナの流行が収まらず、当初計画していた第2回イベントが中止となりました。

第1回目、3回目、4回目は新型コロナの発生状況を見ながら、周囲の状況を判断し、感染予防対策を取って安心安全に留意して実施しました。

参加者数を例年に比べて半数としましたので多数の参加申込を頂いた希望者方にはご迷惑を掛けたのではないかとと思われます。次年度は通常に各イベントが開催されることを希望しています。

事業報告書の最後になりましたが訃報があります。当会の発足当初から同窓生、ボランティアスタッフを纏め導いてきた川口会長が2月下旬に急逝いたしました。会長亡き後も川口会長の遺志を引き継ぎこの会を存続させていきます。新年度早々に新しい役員を選出し、皆様方のご協力とご支援を支えに頑張っていきたいと思っています。

2021年度の資金、資料提供等本活動に関し以下の団体、自治体、会社にご多大なご協力を頂きました。  
成功裏の活動終了は皆様のおかげです。ありがとうございました。

●国土交通省中部運輸局、三重県運輸支局鳥羽海事事務所

●三重県教育委員会

●津市、松阪市、伊勢市、鳥羽市、志摩市、多気町、明和町、度会町、玉城町、南伊勢町、大紀町、大台町、尾鷲市、紀北町、熊野市、御浜町、紀宝町の各教育委員会、各小中学校

●日本船主協会      ●全日本海員組合      ●山縣記念財団      ●日本中小型造船工業会

●日本海事広報協会      ●日本内航海運組合総連合会      ●JMU 津造船所

●鳥羽商工会議所      ●鳥羽市観光協会      ●南勢海洋少年団      ●セイラビリティ伊勢

●鳥羽商船同窓会      ●鳥羽商船高等専門学校      ●鳥羽商船同窓会伊勢志摩支部



子供たちが海や船を知り  
親しむ活動にご協力ください



## 会員募集中

故郷の海を愛する会は子供たちにもっと世界につながる船や海を知ってもらおうと活動を続け13年となりました。今後とも継続して活動を行えるよう、私たちの活動に賛同し、協力していただける方を募集中です。会のブログをぜひご覧ください。正会員は年会費1,000円です。また、ご寄付も受け付けています。

会費などの振込先 ゆうちょ銀行 鳥羽支店

当座 00830-9-183524

口座名称(漢字) 特定非営利活動法人 故郷の海を愛する会

口座名称(カナ) トクヒ) フルサトノウミヲアイスルカイ



ふるさと  
NPO法人 故郷の海を愛する会

三重県鳥羽市鳥羽三丁目31番37号

Tel 0599-25-8045 Fax 0599-25-8128

活動ブログ



<https://blog.canpan.info/umiwoaisurukai/>

団体情報



<https://fields.canpan.info/organization/detail/1882169442>